

令和5年度

教育委員会定例会（9月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

教育委員会定例会

1 開催日時・場所

令和5年9月27日(水) 10時00分から10時56分まで

四條畷市役所 東別館2階 201会議室

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	佃 千春
委 員	河田 文
委 員	尾崎 靖二

3 事務局出席者

教 育 部 長	阪本 武郎	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	花岡 純
教 育 部 副 参 事 兼 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	賀藤 久道	教 育 支 援 セ ン タ ー 長 兼 学 校 教 育 課 指 導 担 当 課 長	広谷 光輝
教 育 総 務 課 長	古市 靖之	青 少 年 育 成 課 長	勝村 隆彦
教 育 総 務 課 長 代 理 兼 主 任	木邨 勇貴	ス ポ ー ツ ・ 文 化 財 振 興 課 長	神本 かおり
文 化 ・ 公 民 館 振 興 課 長 兼 公 民 館 長	安田 美有希	図 書 館 長 兼 主 任 兼 田 原 図 書 館 主 任	田中 学

4 議事録作成者 教 育 総 務 課 最上 秀樹

5 付議案件

報告 第16号	四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理候補者の選定結果について
報告 第17号	教育委員会事務局職員の休職について
報告 第18号	令和5年度教育委員会事務局職員人事について

植田教育長	<p>みなさま、おはようございます。 只今から9月の教育委員会定例会を開催します。 会議の成立状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
古市教育総務課長	<p>本日の教育委員会定例会は、教育長並びに教育委員全員のご出席をいただいています。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本日の会議が成立していることを報告いたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2号の規定に基づき議事録署名者の指名を行います。 本日の議事録署名者は、佞委員にお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>報告第16号 四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理候補者の選定結果についてを議題といたします。</p> <p>事務局から本件の内容説明を願います。</p>
安田文化・公民館振興課長兼公民館長	<p>報告第16号四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理候補者の選定結果についてご説明いたします。 今年度末をもちまして、四條畷市市民総合センターおよび市立公民館の指定管理者の契約が満了となりますことから、令和6年4月1日から施設を管理運営する事業者について、令和5年8月25日に開催しました四條畷市教育委員会指定管理者選定・評価委員会で、委員5名全員ご出席のもと、審査・選定をいたしました。 申請団体は1団体のみ。審査・選定の結果、候補者は、四條畷市ラーニングコモンズに決定いたしました。 なお、指定期間につきましては、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となっております。 地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求める必要があるため、市議会12月定例議会に上程し、議会においてご可決いただきましたら、候補者を指定管理者とし、令和6年度から、施設の管理運営を行っていただくこととなります。</p>
植田教育長	<p>本件について、質疑等ございましたらどうぞ。</p>

尾崎委員	<p>選定・評価委員会の評価得点のことでご質問いたします。</p> <p>平均点で500点満点のうちの381.80点ということで、点数がおよそ120点ほどマイナスになっていますが、この要因や、満点にならなかったことについて、どういうことがあったのか。</p> <p>合わせて逆に381点ということで、それにふさわしい何か顕著なご意見がありましたらお教えてください。</p>
安田文化・公民館振興課長兼公民館長	<p>大きくこの項目についてマイナス項目があったということはございません。概ね委員の方々が、各項目において7割から8割の得点をお付けになられたという状況でございます。また、各委員のご意見の中で肯定的なご意見として頂戴しているものとしては、これまでも指定管理者として十分事業を実施してこられ、非常に安定した運営をしておられる。また、地域に根差した活動も様々されている状況から、今後も指定管理者として期待できるものとして評価された状況でございます。</p>
山本教育長職務代理者	<p>関連しているとは思いますが、1点めは市民総合センターの指定管理の候補が1者であったと言われましたが、非常に残念な結果だと思っています。何か1者になったことについて、特定できるような理由や、事情があれば教えていただきたいと思えます。</p> <p>それから2点めは、尾崎委員がおっしゃられたことに関連しているのですが、平均がほぼ8割ということで、結構高い評価をいただいていると考えています。今年度も、この団体についてはコンサートやイベントなど、非常に市民の関心の高いものを積極的にされているという印象を持っています。選定された事業について、特に今年度までと異なるような事業があればそれについても教えていただきたいと思えます。</p>
安田文化・公民館振興課長兼公民館長	<p>まず1点めですが、1者しかご応募がなかったことにつきまして、現地説明会には3者のご参加を頂戴しておりましたが、各事業所と少しお話させてもらったところ、建物が古いというコメントを非常に多くいただきました。修繕が必要なことを想定された中でご検討のうえ、ご応募いただけなかったと推察しております。</p> <p>2点めにつきましては、次年度以降改めて新規事業という大きな点ではございませんが、昨年度から、なわて音楽プロジェクトというものを立ち上げ、新しい事業に既に取り組んでいるところでございます。</p> <p>その他、公民館の空き部屋を自習室に運用するなど、様々新しい取り組みを随時行っている状況でございます。このような点が評価を受けたと考えております。</p>
植田教育長	<p>その他、質疑はございませんか。</p>

<p>植田教育長</p>	<p>(「なし」の声)</p> <p>それでは、次に移ります。</p> <p>議題に入る前に、報告第17号については人事案件でございますので四條畷市教育委員会会議規則第9条第1項の規定に基づき、秘密会にしたいと思いますが、委員の皆さまこれに異議はございませんでしょうか。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議がないようですので、報告第17号については秘密会といたします。</p> <p>〈秘密会〉</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ただいまから、会議を公開いたします。</p> <p>それでは、次に移ります。</p> <p>追加議題としまして、報告第18号 令和5年度教育委員会事務局職員人事についてを議題といたします。</p> <p>事務局から本件の内容説明を願います。</p>
<p>古市教育総務課長</p>	<p>報告第18号 令和5年度教育委員会事務局職員人事について、教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、特に緊急を要するため委員会を招集する時間的余裕がなかったため、教育長をして臨時に代理したので、同規則同条第3項の規定に基づきその内容を報告いたします。</p> <p>令和5年9月27日付けの人事異動の詳細については、配付資料のとおりでございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本件について、質疑等ございましたらどうぞ。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、その他の案件に移ります。</p> <p>事務局から本件の内容説明を願います。</p>
<p>花岡教育部次長兼 学校教育課長</p>	<p>令和5年4月18日に実施された、令和5年度全国学力・学習状況調査の分析についてご報告させていただきます。お配りしている資料をご覧ください。</p> <p>分析内容の前に資料の構成について説明させていただきます。</p> <p>項目番号順に、1 経年変化グラフ、その下、2 平均正答率の全国比割合の</p>

<p>(花岡教育部次長 兼学校教育課長)</p>	<p>経年変化、右側ページ、3各教科の正当数分布グラフ及び結果の分析、裏面、4学習状況調査、最後に、5まとめという構成になります。</p> <p>全体的な分析として、平均正答率の対国比について小学校算数、中学校英語に課題があるものの、小中学校国語、中学校数学は改善傾向にありました。学校ごとの傾向を見ると、校内授業研究で取り組んだ教科の平均正答率に改善が見られました。</p> <p>続いて各教科の分析ですが、まず成果として小学校国語については、文章の種類と特徴を理解すること、目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること、中学校国語については、目的や場面に応じて質問する内容を検討することや、聞き取ったことをもとに目的に沿って自分の考えをまとめることがあげられます。</p> <p>一方で、目的に応じ文書と図表とを結びつけ必要な情報を見つけることや、情報と情報を関係づけることに課題が見られます。国語科で身に着けるべき力を明確にし、単元に言語活動を位置づけ目的意識をもって文章構成、書き方の工夫を学べる授業改善を今後も図ってまいります。</p> <p>次に、小学校算数については、目的に応じて示された複数のグラフからデータの特徴をとらえ、考察したり示された基準量と比較量から割合を求めたりすることに課題があります。</p> <p>中学校数学については、平面が一つに決まる条件、比例定数と X、Y との関係等との内容理解に課題がみられます。日常生活や社会の事象を数学的に表し考察する学習活動をとおして、思考し表現する力を育む指導方法の研究を深めていく必要があります。</p> <p>中学校英語については、情報を正確に聞き取ることに成果が見られ、小学校から英語の歌、短い物語、フォニックスなどの映像・音声素材に触れ、英語のリズムやイントネーションに慣れ親しんでいることが成果につながっていると考えられます。しかし、語彙の意味や文法を理解することや、事実、考え、気持ちを区別して読むことに課題があります。事実と感想・意見と区別して読むことについては、国語科の指導と関連づけ習得できるように取り組んでまいります。</p> <p>校内研究授業に大学教授等外部講師を招いたり、各部会で指導案検討や事前研をおこなったり、授業づくりへの深まりが各校で見られるようになりました。先生方が主体的に学んだことを日常の授業に生かすことで、児童生徒に身に付けさせたい力が育成されるものと感じられる成果が見られたので今後も継続的に取り組んでまいります。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>只今の件につきまして、質疑等ありましたらお願いします。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>まなびのプランで、記述式の問題の数値目標があったと思います。以前にお聞きしたかと思いますが、この国語と算数、数学の数値について</p>

(尾崎委員)	お教えいただけますか。
花岡教育部次長兼学校教育課長	本市の小学校国語につきましては、記述式平均正答率は、44.6%、算数につきましては、37.6%、中学校におきましては、国語66.0%、数学が37.3%、英語が10.8%となります。
尾崎委員	<p>まなびのプランの数値目標を以前教えていただいた記憶があったのですが。</p> <p>今、わからなければ結構ですが、一応数値目標としては、小学校の国語が92%、中学校の国語が95%、小学校の算数が91%、中学校の数学が96%。これに対してどうであったかを教えていただきたいということが、質問の趣旨でした。</p>
花岡教育部次長兼学校教育課長	<p>すみません。確認ができておりませんでした。</p> <p>記述式問題の全国比のところを、まなびのプランの目標値としていたところでした。</p> <p>いま、私が平均正答率を申し上げておりましたので、答えになっていなかったことをお詫びさせていただきます。</p> <p>割合につきましては、正確にはじき出せていないところがありますので、今後、数値を確認していきたいと思います。</p>
尾崎委員	<p>今後教えていただきたいと思いますが、今の質問に関連いたしまして、小学校の算数の1の問題の(1)、(2)、(3)、(4)とございます。</p> <p>これを見ますと、四條畷市の実態としまして、上回っているものもあれば下回っているものもあるとのことなのですが、この4つの設問はどの程度できたら四條畷市としては、子どもたちが頑張っているという評価になるのでしょうか。</p> <p>これは、全国との比較ではなくて絶対的な割合としてどの程度できればという意味です。正確なことは難しいと思うのですが、おおよそそのことを教えていただけたらと思います。</p>
花岡教育部次長兼学校教育課長	具体的な数値の設定までしているわけではないのですが、問題の内容を見ますと、単元終了後に行うテストと大きく難易度が隔たるものではないという解釈からしますと、おおよそ8割程度の正答率が求められるような問題の内容になっているかと理解しております。
尾崎委員	そうしますと、1の(1)については大幅にオーバーしているので子ども達は大変頑張ったと、1の(2)はほぼ同じなので、まあ頑張っているかなと、1の(3)につきましては、かなり落ち込んでいると、今のお話を伺い

(尾崎委員)	<p>ますと思います。1の(4)につきましては、ほぼ8割くらいできているので頑張っていると。</p> <p>この1の(3)の問題はどんな問題ですか。</p>
花岡教育部次長兼学校教育課長	<p>問題につきましては、4脚の椅子の重さを示された状況で48脚の椅子の重さは何キログラムですかという、1あたり量に関わる問題で、求め方や式を言葉を使って書き表すような問題になっております。</p>
尾崎委員	<p>回りくどい質問の仕方をして恐縮ですが、実感していただこうと思いました。</p> <p>ニュースでご存じであろうと思いますけれども、1の(3)が全国平均で55.5%で、他県の例ではありますが、こんなことがちゃんとできないで、義務教育を終わらせて良いのだろうかという問題提起をされました。非常に現場の先生たちにはご理解があって、先生たちは頑張っている。だけどこの問題は解決しないといけないという趣旨の発言をされました。</p> <p>私も大変共感します。</p> <p>申し上げたいことは、この55.5%というのは、全国的な問題で、四條畷市だけの問題、大阪府だけの問題ではなく、こういう問題については全国的にみんなが頑張っていかなければならないという意識を持たないといけないのではないかと思うので、このようなことについて四條畷市ではどのように考え、取り組んでおられるのでしょうか。</p>
花岡教育部次長兼学校教育課長	<p>四條畷市ではやはりこの結果を受けて、子どもたちの課題については真摯に受け止めて授業改善に当たらないといけないと思います。</p> <p>先ほど冒頭で申し上げたとおり、研究授業を研究教科としている教科についてはやはり、成果が見られるところがあります。これを研究授業だけに終わらせずに日常の授業にどれくらい生かされるかという視点を持って授業を研究していくことが大事になるかと思っております。</p> <p>ここについては、私の実感としては、これまでの単発で終わる研究授業ではなく、研究授業で提供された授業、指導の工夫などを日常の授業に生かすという視点は、先生方に少しずつ広まっているように実感しております。</p>
尾崎委員	<p>これが共通しているのは記述式の問題ですので、私の考えですけれども、記述式の問題は子どもたちに学習の折に書かせないと伸びないと思いますので、次長がおっしゃったように、授業改善の取り組みの中や研究の中で是非、記述のあり方を引き続き研究し、子どもたちにも日常に生かしていただくことをお願いいたします。</p>

山本教育長職務代理者	<p>断片的なことになるのですが、例えば、小学校の国語の3の(2)で、自分の考えを述べることに課題があるとなってます。</p> <p>その他の算数のところでも、記述式の部分では特に理由を記述すること、あるいは事実を記述することに課題がある。問題の分析をしますと、そういう課題が出てくるかと思います。</p> <p>中学校でも国語のところでは1の(3)で、話しの内容をとらえて効果的に質問することに課題がある。あるいは、その下の数学でも内容理解の定着に課題があるというように分析をされています。</p> <p>一方で裏面の子どもたちの回答では、自分で考えて自分から取り組んでいましたかということに対して、肯定的な回答というのは、小学校、中学校とも結構高い数字を出しているかと思います。</p> <p>それから、児童が主体的に学習に取り組む授業改善を進めていく方向性については良いかと思いますが、そのあたりが子どもたちの思い、あるいは子どもたち自身の持っている印象と実態とが少し離れているのではないかという断片的な印象を持ったという感想です。</p>
佃委員	<p>今年度のこのような資料を見せていただいて、やはり思うのは、つい折れ線グラフの上がり下がりとか、そういったところに目がいってしまうのですけれども、今現在の令和5年度の結果の数字をしっかりと見つめたときに、やはり0.94、0.99、0.95、0.92、そして0.88というこの数字を見たときに、厳しく受け止めなければいけないなという思いがします。</p> <p>先ほどの尾崎委員のご発言に関わりますけれども、この中学校の英語0.88のままで卒業させていいのだろうか、我々の義務教育に関わる者の責任として、卒業のその時まで何ができるかということ現場の先生方は本当に自分事として考えてくださっていることが大事ですし、それを教育委員会としてどのように支援をしたり指導したりするかということ急ぎ考えなければいけないと思っています。</p> <p>もちろん、次長がおっしゃったように、現場は研究授業を中心として授業改善に取り組んでおられますし、一生懸命なさっている様子は私たちも見せていただきましたけれども、現実、この折れ線グラフや棒グラフを見ますと、はっきり上位層が伸ばせていない。</p> <p>いろいろ学校による分布図は校長先生をはじめ先生方しっかりと受け止めて改善のために方策を立てておられると思うのですが、では何のために個別最適化というようなことを今進めているのかとか、教育委員会としても莫大な予算を注ぎこんで、いろいろな機器であるとか、ウェブサイトであるとか、そういったものを使ってくださいと言ってる中で、何かきっかけはいろいろあると思いますが、そういったことを含めてもう一度、学校の子どものことを自分事として、先生方一人一人が受け止めていただくことによって、</p>

(佃委員)	明日からの授業が変わっていくこともたくさんあると思うので、是非ともデータを大事に、もう一度校長先生を中心に分析しなおし、自分の授業を見つめ直してほしいということと、それをしっかりと教育委員会が指導、支援してほしいと切に思います。
植田教育長	<p>その他、質疑等ございましたらお願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	それではその他案件が他にありましたらお願いいたします。
広谷教育支援センター長兼学校教育課指導担当課長	市内小中学校における9月の学級閉鎖の状況についてお知らせいたします。市内6小学校のうち6クラスで学級閉鎖が行われました。市内3中学校のうち1中学校4クラスにおいて学級閉鎖が行われました。主な事由としては、新型コロナウイルス感染症となっております。
植田教育長	只今の件について、質疑等ございましたらどうぞ。
尾崎委員	確認ですが、インフルエンザによる学級閉鎖はなかったということでしょうか。
広谷教育支援センター長兼学校教育課指導担当課長	インフルエンザによる学級閉鎖は、小学校において1クラスのみございましたが、実際にインフルエンザが確認できた児童は1人で、その他は発熱となっておりますので、実際にどちらであったかというところは確認できていない状況での学級閉鎖となっております。
植田教育長	<p>その他、質疑等ございましたらどうぞ。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>この他に事務局から何かありましたらお願いします。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	それでは、本日予定の案件の審議はすべて終了しました。これをもちまして、定例会を閉会いたします。

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年12月27日

四條畷市教育長 植田 篤司

四條畷市教育委員会教育委員 佃 千春